

論文内容要旨

論文題目

退院支援部門における個人情報の管理と取扱いに関する研究

教育・研究領域：生涯生活支援看護学

氏名：長岡 真希子

【要旨】

2003年個人情報保護法の制定に伴い、厚生労働省より2004年『医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン』が公表され、保健・医療・福祉の連携での情報の共有に際し、より一層の安全管理措置への対策が求められるようになった。こうしたガイドラインに沿って個人情報保護対策を推進することは、サービス利用者や家族への安心かつ安全なケアの提供につながることを期待される。しかし法制定後、医療・介護現場において、本ガイドライン等に沿って個人情報の管理や取扱いが適切に実施されているのか否か、現場の実態は明らかにされていない。そこで本研究では、医療・介護現場での個人情報の管理と取扱いに必要な項目を設定し、病院の退院支援部門における個人情報の管理及び職員個々の個人情報取扱いに関する行動の実態を明らかにし、その因子構造と職員個々の個人情報取扱いに関する行動に影響を与える主要な要因を明らかにすることを目的とした。個人情報の管理を管理項目、個人情報の取扱いを行動項目として全国200床以上の病院の退院支援部門実務職員を対象に郵送質問紙調査を実施した。因子分析の結果から、管理項目4因子、行動項目4因子抽出された。また、行動項目に影響する要因として、年齢、管理項目等が影響していることが明らかとなった。これらから、組織的管理として強化されるべき点、職員個々が意識し実行すべき点が明確化され、在宅療養支援全般における個人情報保護対策に貢献できる示唆が得られた。

平成 26 年 1 月 20 日

山形大学大学院医学系研究科長 殿

学位論文審査結果報告書

申請者氏名： 長岡 真希子

論文題名： 退院支援部門における個人情報の管理と取扱いに関する研究

審査委員：主審査委員 小林 淳子



副審査委員 村上 正泰



副審査委員 細谷 たき子



審査終了日：平成 26 年 1 月 20 日

【 論文審査結果要旨 】

本研究は、病院の退院支援部門において対象者のプライバシー権が守られ、かつ適切に情報が共有されるために、医療・介護現場での個人情報の管理と取扱いに関する項目を設定してその実態を明らかにし、個人情報の管理及び取扱いに関する行動の因子構造と行動に影響する要因の解明を目的としている。

審査においては、研究デザイン、対象病院の規模による影響、知見の新規性・独創性、管理項目・行動項目の抽出設定方法の妥当性、用語の妥当性・一貫性等について指摘があり討議された。審査委員の指摘に対しては論述の追加がなされ、適切に加筆修正されたことを確認している。

本研究では、個人情報の管理と職員個々の個人情報取扱いに関する行動の実態と因子構造を初めて報告し、現場の実情に即した組織的管理体制や職員の個人情報保護対策を進めるための根拠を提供した点が評価できる。

以上により、本論文は看護学の博士論文に相応しいと判定し合格とする。